I-O DATA

キャプチャボード

GV-D1VR

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

147644-02

もくじ

お読みになる前に 2
必ずお守りください 3

はじめに 9

箱の中には 10
動作環境 12
対応機種および対応OS 12
接続できる映像機器 14
各部の名称・機能 15

使えるようにしよう 17

ドライバをインストールしよう 18
取り付けよう 19
金具の取り替え 20
パソコンへの取り付け 22
映像機器との接続 23
認識させよう 24
確認しよう 26
ソフトウェアをインストールしよう 27

DigiOnTVRを使おう 29

DigiOnTVRを起動する 30
DigiOnTVRの初期設定をしよう 31
DigiOnTVRの操作 33

付録 35

サポートソフトの削除 36
ドライバの削除 36
サービス品のソフトウェア 37
入っているソフトウェア 37
インストール方法 37
困った時には 38
別売オプション品 41
仕様 42

お問い合わせ 43
修理について 46

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

呼び方

呼び方	意　味
本製品	GV-D1VR
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System, Microsoft® Windows® XP Professional Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System

※ 本書内のOSは、全て日本語版を指します。

マークの説明



注意
本製品を使う上で、注意するべきことが書かれています。



参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

必ずお守りください

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意事項

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

△ この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示

⃠ この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

● この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告



本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。



煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。



本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。



本製品の取り付け・取り外し・移動の際は、パソコン・周辺機器の電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

電源コードを AC コンセントに差したまま行うと、感電および故障の原因となります。



本体を濡らさないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。



濡れた手で本製品を扱わないでください。

感電や、本製品の故障の原因となります。

⚠ 注意



本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

定期的にバックアップをお取りください。



本製品は以下のような場所で保管･使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_xなど）
- ●静電気の影響の強い場所



本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない
- ●本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。



本製品のコネクタ・基板部分には触れないでください。

基板部分は、とがっている場合があります。誤って触れるとけがの原因となります。

また、コネクタ・基板部分に触れると静電気により、本製品が破壊されるおそれがあります。



本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- ●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。



本製品を結露させたまま使わないでください。

時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。

本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、表面・内部が結露する場合があります。

そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。



動作中にケーブルを激しく動かさないでください。

接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

使用上のご注意

●ケーブルは、コネクタを持って取り外す

ケーブルを取り外すときは、ケーブル部分ではなく、コネクタを持って取り外してください。

●ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用しない

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。



Memo

はじめに

箱の中には …… 10
箱の中のものを確認します。

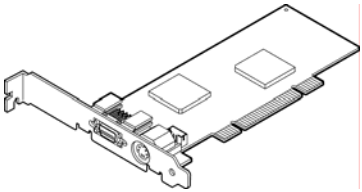
動作環境 …… 12
本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。

各部の名称・機能 …… 15
コネクタなどの名前と機能を説明します。

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。
☐にチェックをつけながら、ご確認ください。
万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

☐ **キャプチャボード(1枚)**
[GV-D1VR]

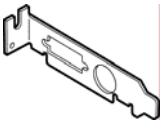


☐ **Sビデオ変換アダプタ※(1個)**

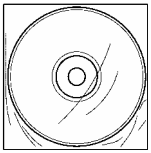


※ 本製品以外ではご利用になれません。

☐ **ロープロファイル用金具(1個)**



☐ **GV-BCTV7/9 & GV-D1VRサポートソフト(1枚)** [CD-ROM]



・ドライバ
・DigiOnTVR L.E. for I-O DATA
・XVD Encoder plus 機能制限版
・Windows Media Video 9 VCM
・DigiOnTVR for I-O DATA ユーザーズガイド
・Adobe Reader 6.0

☑ **GV-D1VR 取扱説明書 (1冊)** [本書]

☐ **ハードウェア保証書(1枚)**

シリアル番号をメモしてください

▼ここにシリアル番号をメモしてください。

※ シリアル番号は、本製品に貼られているシールにある12桁の英数字（例：ABC1234567ZX）です。
シリアル番号は、ユーザー登録・ダウンロードの際に必要です。

●ユーザー登録　⇒ http://www.iodata.jp/regist/

●ダウンロード　⇒ http://www.iodata.jp/lib/

参考

箱・梱包材は

大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて

実物と若干異なる場合があります。

DigiOnTVR, XVD Encoder plus, Windows Media Video 9 VCMについて

【サービス品のソフトウェア】(37ページ)をご覧ください。

動作環境

本製品を使うことのできるパソコン環境を説明します。

対応機種および対応 OS

対応機種	NEC PC98-NXシリーズ，DOS/Vマシン※1
対応OS	Windows XP※2，Windows 2000
CPU※3	Intel Celeron 600MHz以上，Pentium Ⅲ 500MHz以上， Pentium 4（Pentium 4 1.8GHz以上を推奨※4） AMD　Athlon 600MHz以上，Duron
メモリ	128Mバイト以上（256Mバイト以上を推奨※4）
ハードディスク	100Mバイト以上の空き容量※5※6 （NTFSファイルシステム推奨※4）
Windowsグラフィック アクセラレータ※7	解像度：1024×768ドット以上 画面の色：16ビットハイカラー以上
サウンド	48kHzステレオ再生およびDirectSoundに対応した サウンドカードが必要
CD-ROMドライブ	インストール時に必要
PCIバススロット	PCI Rev.2.2以降のPCIバススロットが１つ必要

※1　弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。
※2　「ユーザーの切り替え」には対応しておりません。「ユーザーの切り替え」を行う場合は、あらかじめ本製品に添付のソフトウェアを全て終了させてください。
※3　ご利用の機能によっては、さらに高速な環境が必要となる場合があります。
※4　MPEG-2形式でのキャプチャ、メディアへのリアルタイム録画、タイムシフト再生を行う場合は、これらの推奨環境以上でお使いください。
※5　7200rpm以上のハードディスクを推奨します。
※6　録画保存用には、別途空き容量が必要です。
また、DVD書き込みには最大約10Gバイトの空き容量が必要となります。
※7　Windowsグラフィックアクセラレータの種類やVRAMの容量によって表示条件(解像度、色数、リフレッシュレートなど)が制限される場合があります。



他のキャプチャ製品との併用はできません

他のキャプチャ製品をお使いの場合、あらかじめ全て取り外し、それらの製品をアンインストールしてください。

DVD-R/RW, DVD+R/RW, DVD-RAMドライブ

DigiOnTVRでDVDに書き込む場合は、DVD-R/RW, DVD+R/RW, DVD-RAMドライブが必要です。
対応するドライブについては、下記のWebサイトをご覧ください。

http://www.digion.com/pro/dr_main.htm

本項条件に適合するすべての環境にて動作保証するものではありません。
また、本項条件に適合する環境であっても、グラフィックアクセラレータやハードディスクなどの性能により、コマ落ち等が発生する場合があります。

接続できる映像機器

接続する映像機器は映像（ビデオ）出力端子のあるものをご用意ください。
また、本製品との接続のためにはD端子ケーブル、コンポジットケーブルまたは
Sビデオケーブルが必要です。電化製品販売店などでお求めください。

・D1出力端子を持つ映像機器
・Sビデオの映像出力端子を持つ映像機器
・ピンプラグ形状の映像出力端子を持つ映像機器

参考

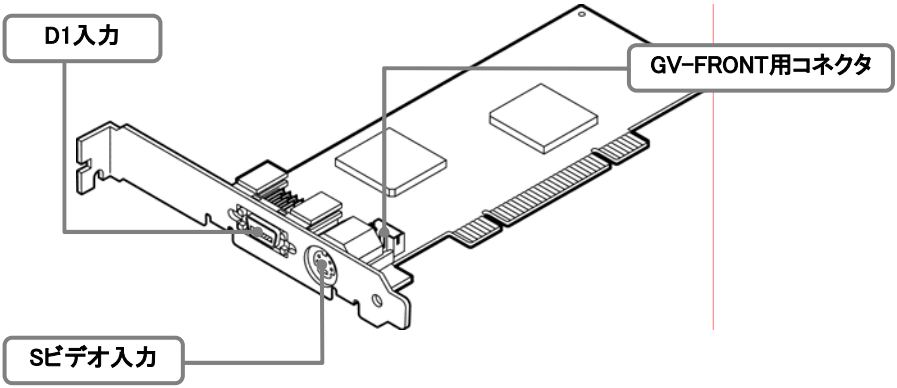
映像機器との接続について

「Sビデオケーブル」と「コンポジットケーブル」では、「Sビデオケーブル」を使って接続した方が鮮明に表示されます。

・一部のビデオ機器・ゲーム機の映像は正しく表示されない場合があります
・著作権保護機能が入っている映像（DVDソフトなど）は録画できません
・実際の入力映像より、数秒遅れて表示される場合があります
あらかじめご了承ください。

各部の名称・機能

コネクタなどの名前と機能を説明します。

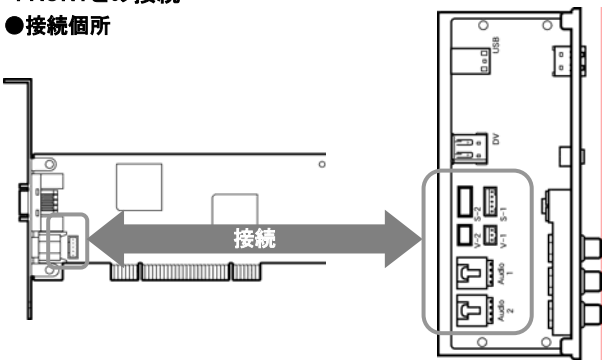


D1入力	映像機器からの映像を入力します。
Sビデオ入力	映像機器からの映像を入力します。
GV-FRONT用コネクタ	弊社製フロントアクセスユニット「GV-FRONT」(別売)と接続します。 **※接続方法は、次ページの参考をご覧ください。**

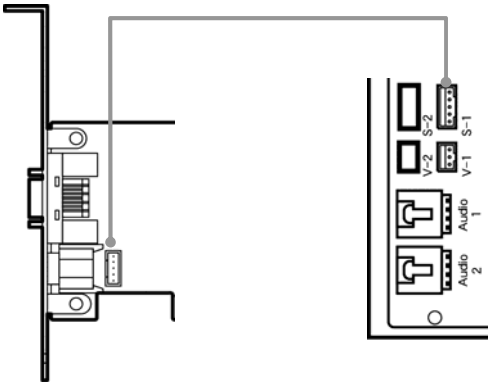
参考

GV-FRONTとの接続

●接続個所



●接続



※ GV-FRONTには、D1入力がありません。
D1入力をお使いの場合は、本製品に直接接続してください。

※ さらにGV-FRONTとサウンドカードと接続することで、音声入力も
GV-FRONTで行えます。
詳しい接続方法については、GV-FRONTの取扱説明書をご覧ください。

GV-FRONTと接続するケーブルについて

GV-FRONTに添付されています。
ケーブルが不足する場合は、別途ご用意ください。

GV-FRONTと接続した場合、本製品に映像機器を直接接続しない

GV-FRONTと本製品の両方に映像機器を接続しないでください。

使えるようにしよう

ドライバをインストールしよう…… 18

取り付けよう…… 19

認識させよう …… 24

確認しよう…… 26

ソフトウェアをインストールしよう …… 27

これで準備は完了です

ドライバをインストールしよう

ドライバのインストールをします。

Windowsにログオンするときは
コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでログオンしてください。

まだ本製品を接続しないでください
【取り付けよう】(19ページ)で接続します。

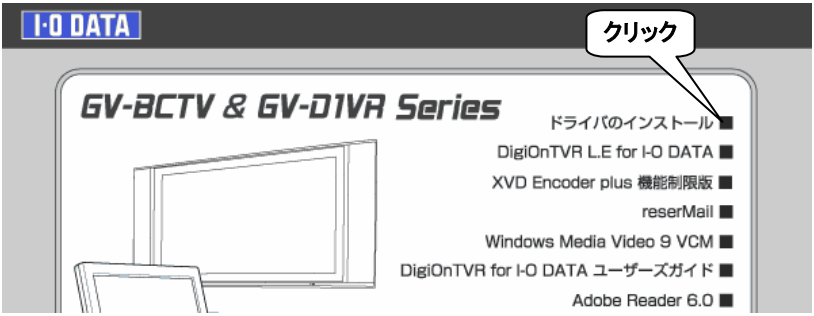
1 サポートソフトを挿入します。

GV-D1VRサポートソフトをCD-ROMドライブに挿入します。
⇒メニューが表示されます。

メニューが表示されない
①「マイコンピュータ」を開きます。
②［GVBCTV］→［SETUP］の順にダブルクリックします。
⇒メニューが表示されます。

2 [ドライバのインストール]をクリックします。

⇒インストール画面が表示されます。
画面の指示に従ってインストールしてください。

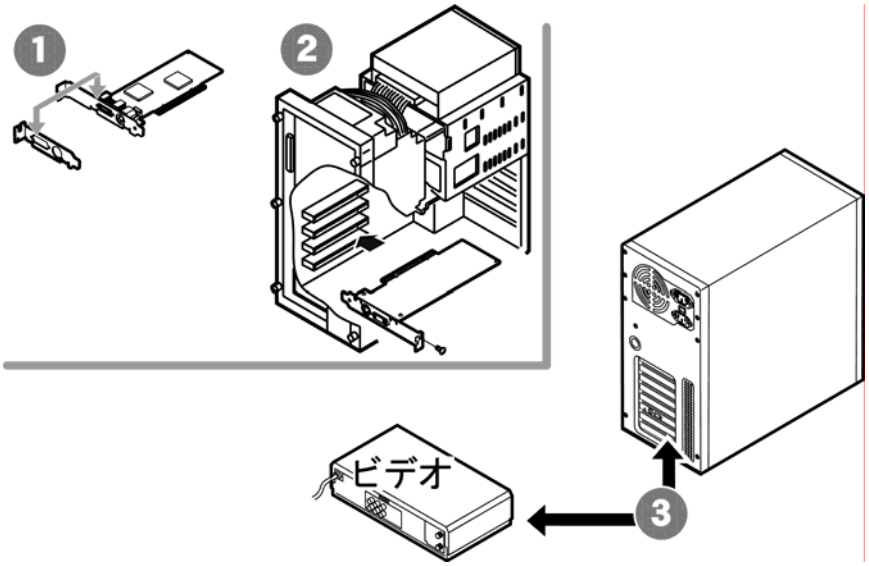


インストール後、Windowsを終了します
パソコンの電源を切る前に、サポートソフトを取り出してください。

ドライバはインストールされました。

取り付けよう

本製品を接続する手順を説明します。



参考

作業する前に

本製品には「D端子（Sビデオ）ケーブル」や「オーディオケーブル」などは添付されておりません。
あらかじめ、別途ご用意ください。

映像機器について

本製品には、映像機器に対して入力を持っています。
映像機器は、本製品に映像を入力するための機器(ビデオデッキなど)を指します。

映像機器との接続について

「D端子ケーブル」と「Sビデオケーブル」では、「D端子ケーブル」を使って接続した方が鮮明に表示されます。

一部のビデオ機器・ゲーム機の映像は正しく表示されない場合があります

あらかじめご了承ください。

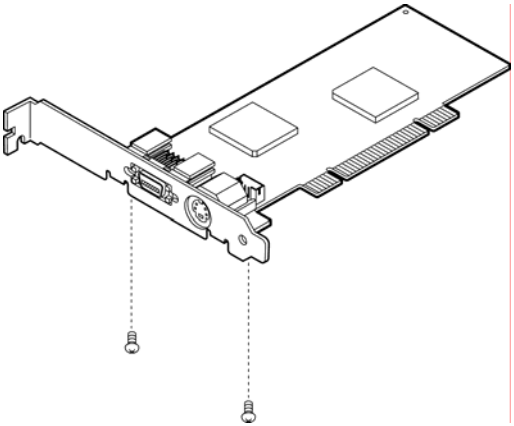
1 金具の取り替え

ロープロファイルPCIバススロットに本製品を取り付ける場合は、金具の取り替えが必要です。
その場合は、下の作業を行ってください。

参考

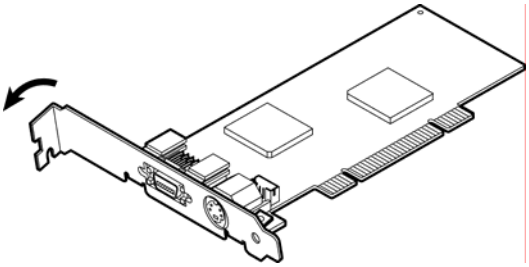
普通のPCIバススロットに本製品を取り付ける場合
この作業は必要ありません。22ページへ進んでください。

1 本製品の金具のネジを外します。



2 金具を基板面から浮かすようにして取り外します。

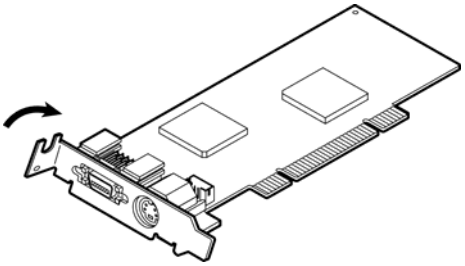
ネジ穴のある部分が基板面をひっかかないように、傾けて取り外します。



3 金具を基板面から浮かすようにして取り付けます。

ロープロファイル対応金具のネジ穴のある部分が、基板面をひっかかないように、傾けて取り付けます。

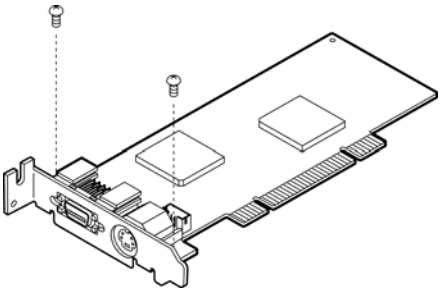
※ ネジ穴のある部分が基板の裏（大きな部品が付いていない側）に来ることにご注意ください。



4 ロープロファイル対応金具をネジで固定します。

固定するときは、手順 *1* で取り外したネジを使います。

※ ネジは、基板の表（大きな部品が付いている側）から入れることにご注意ください。



参考

取り外した金具に戻す場合

本作業を読み替えて行ってください。

作業の際は、「ネジ穴のある部分の位置」「ネジの向き」にご注意ください。

2 パソコンへの取り付け

1 パソコンの周辺機器およびパソコンの電源を切ります。

2 パソコンの電源ケーブルを電源コンセントから抜きます。

3 パソコンのカバーを取り外します。

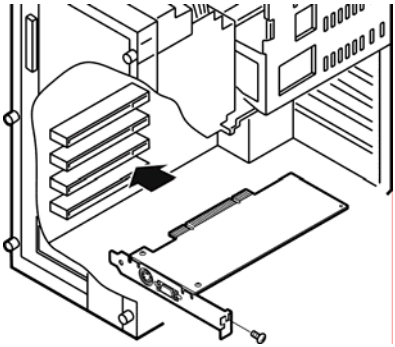
方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

4 PCIバススロットのカバーを取り外します。

5 本製品を取り付けます。

・本製品がPCIバススロットに正しく差し込まれたことをご確認ください。

・パソコンによって取り付け位置が異なります。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



6 本製品をネジで固定します。

ネジはPCIバススロットカバーのものをお使いください。

7 パソコンのカバーを元に戻します。

3 映像機器との接続

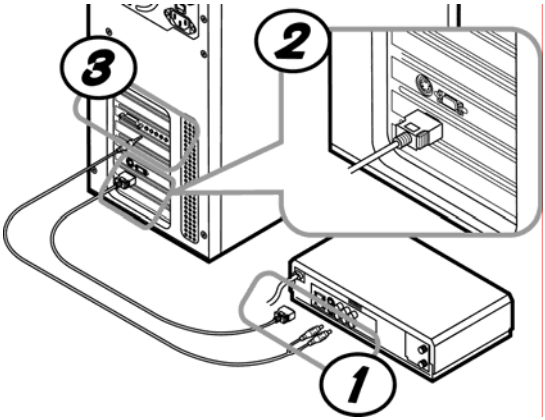
1 映像機器にケーブルを接続します。

・「音声出力」に「オーディオケーブル」を接続します。
・「D1出力」に「D端子ケーブル」を接続します。

2 D端子ケーブルのもう片方を本製品に接続します。

「D1入力」に「D端子ケーブル」を接続します。

3 サウンドカードの入力コネクタにオーディオケーブルを接続します。



参考

接続したサウンドカードの入力コネクタ名は後の設定で必要です

サウンドカードの取扱説明書などをご覧になり、接続したサウンドカードの入力コネクタ名をメモしておいてください。

▼入力コネクタ名

D端子、Sビデオで接続できない場合

「Sビデオ入力」に「Sビデオ変換アダプタ」を接続することで、そこに「コンポジットケーブル」を接続することもできます。
ただし、D端子ケーブル、Sビデオケーブルを使って接続した方が鮮明に表示されます。

本製品の取り付け作業は完了しました。

認識させよう

本製品をWindows上で使えるようにする手順を案内します。

参考

Windowsにログオンするときは

コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでログオンしてください。

1 サポートソフトが取り出されていることを確認します。

サポートソフトがCD-ROMドライブに挿入されている場合は、取り出してください。

2 Windowsを起動します。

⇒本製品がWindowsに認識され、認識画面が表示されます。

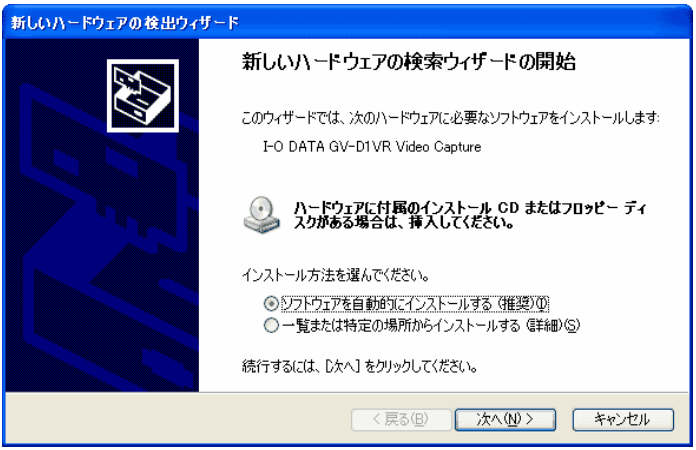
3 認識画面の指示に従います。

下の２つのドライバを認識させます。

そのため、同じような画面が２回出てくることとなります。

[I-O DATA GV-D1VR Video Capture]

[I-O DATA GV-D1VR Crossbar]

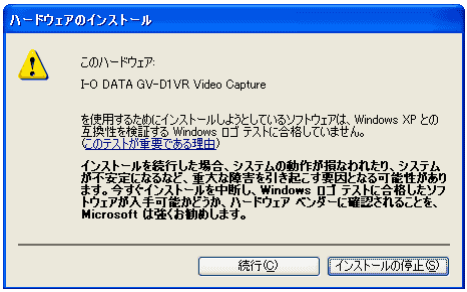


参考

下のような画面が表示されます

［続行］ボタンまたは［はい］ボタンをクリックしてください。
⇒インストールが続行されます。

これは、マイクロソフト株式会社がWHQLという組織において、パソコンや周辺機器などを対象に認定手続きを実施しているものです。
本製品は、認定を受けておりませんが、問題なくお使いいただけます。





確認しよう

本製品を正しく使える状態になっているかを確認します。

1 「システムのプロパティ」を開きます。

Windows XPの場合

①［スタート］→［マイコンピュータ］の順にクリックします。
②［システム情報を表示する］をクリックします。

Windows 2000の場合

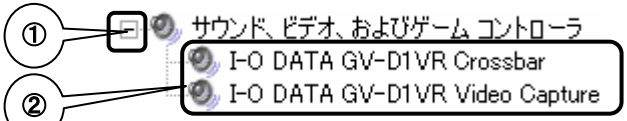
［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 「デバイスマネージャ」を開きます。

①［ハードウェア］タブをクリックします。
②［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

3 本製品を確認します。

① ［サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ］の左にある⊞をクリックします。
⇒その下が表示されます。
② 本製品のドライバを確認します。



注意

本製品のドライバがない
【本製品のドライバが表示されない】（38ページ）

4 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある ✕ をクリックします。

確認作業は完了しました。

ソフトウェアをインストールしよう

ソフトウェアのインストールをします。

参考

Windowsにログオンするときは

コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでログオンしてください。

1 サポートソフトを挿入します。

GV-D1VRサポートソフトをCD-ROMドライブに挿入します。

⇒メニューが表示されます。

参考

メニューが表示されない

①「マイコンピュータ」を開きます。

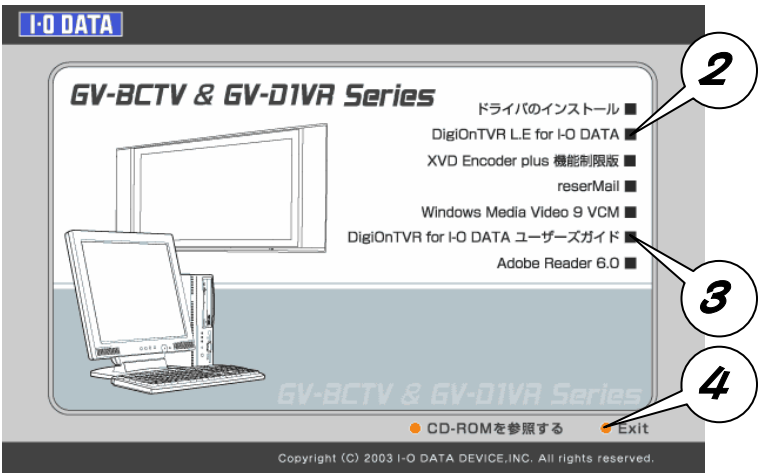
②［GVBCTV］→［SETUP］の順にダブルクリックします。

⇒メニューが表示されます。

2 [DigiOnTVR L.E. for I-O DATA]をクリックします。

⇒「DigiOnTVR L.E.」のインストールが始まります。

画面の指示に従ってインストールしてください。



参考

インストール後、Windowsが再起動される場合があります

再起動された場合、再起動後にもう一度メニューを表示して、続きを行ってください。

3 [DigiOnTVR for I-O DATA ユーザーズガイド]をクリックします。

⇒「DigiOnTVR for I-O DATA ユーザーズガイド」のインストールが始まります。

画面の指示に従ってインストールしてください。

参考

他のソフトウェア

インストールする場合は、各ソフトウェア名をクリックしてください。

あとは、画面の指示に従ってください。

各ソフトウェアについては、37ページをご覧ください。

4 [Exit]をクリックします。

5 サポートソフトを取り出します。

ソフトウェアはインストールされました。

DigiOnTVRを使おう

DigiOnTVRを起動する …… 30

DigiOnTVRの初期設定をしよう …… 31

DigiOnTVRの操作 …… 33

DigiOnTVRのサポート

DigiOnTVRは、サービス品につき弊社ではサポート致しかねます。
株式会社デジオンにお問い合わせください。

【DigiOnTVRについて】(44ページ)

DigiOnTVRを起動する

DigiOnTVRを起動する方法を説明します。

参考

DigiOnTVRを使うときは

コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでWindowsにログオンしてください。

起動方法

デスクトップにある[DigiOnTVR]アイコンをダブルクリックします。



参考

デスクトップに[DigiOnTVR]アイコンが無い場合

インストール時の設定によっては、アイコンは作られません。
その場合は、［スタート］ボタンから［（すべての）プログラム］→［DigiOn］→［DigiOnTVR L.E.］→［DigiOnTVR L.E.］の順にクリックしてください。

初めて起動する場合、設定画面が自動的に表示されます

【DigiOnTVRの初期設定をしよう】(次ページ)をご覧ください。

DigiOnTVRの初期設定をしよう

DigiOnTVRの初期設定をします。

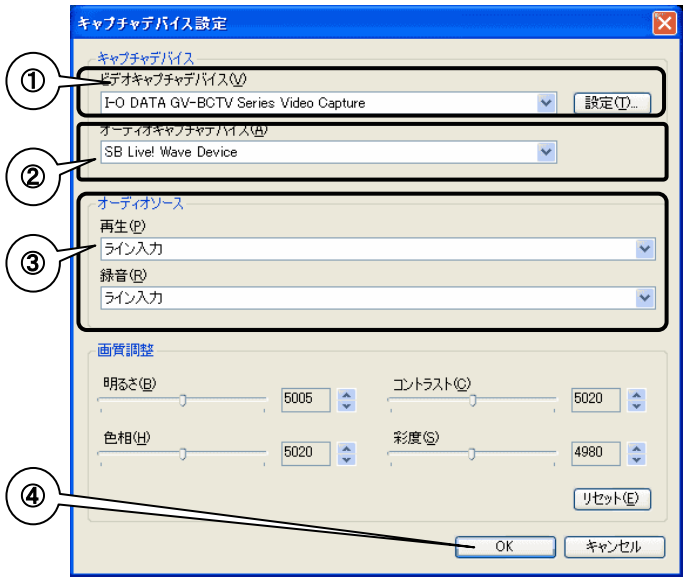
1 デバイスの設定と確認をします。

①「ビデオキャプチャデバイス」を
「I-O DATA GV-BCTV Series Video Capture」に設定します。

②「オーディオキャプチャデバイス」を設定します。
お使いのサウンドカードを選んでください。

③「オーディオソース」を設定します。
23ページでメモしたサウンドカードの入力コネクタを選択します。
※ 「再生」「録音」は同じ設定にしてください。
※ 通常、「ライン入力」となります。

④［OK］ボタンをクリックします。
⇒オプション画面が表示されます。



2 DVD/CDドライブを設定します。

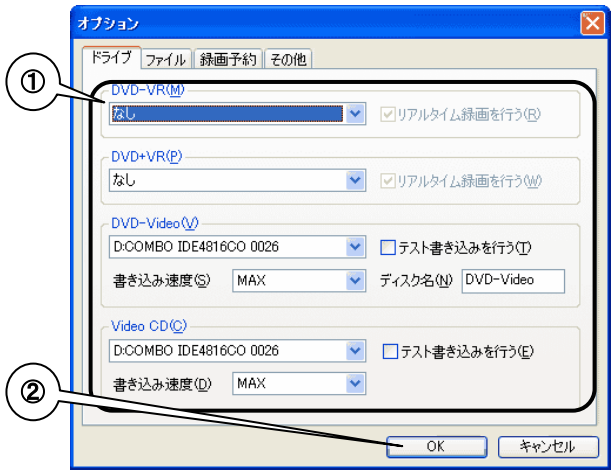
① 各ドライブを設定します。

※ 設定するドライブについては、下の表をご覧ください。

② [OK] ボタンをクリックします。

⇒初期設定は完了です。

DigiOnTVRが起動します。



項目名	説明
DVD-VR	DVD-RAM 方式に対応したドライブを指定します。 このドライブはDVD-VR モードで使います。
DVD+VR	DVD+RW 方式に対応したドライブを指定します。 このドライブはDVD+VR モードで使います。
DVD-Video	CD-R/RW, DVD-R/RW, DVD+R/RW 方式のどれかに対応したドライブを指定します。 このドライブはDVD-Video モードで使います。
Video CD	CD-R/RW 方式に対応したドライブを指定します。 このドライブはVideo CD モードで使います。

DigiOnTVRの初期設定は完了しました。

DigiOnTVRの操作

DigiOnTVRでは、様々な機能を利用できます。
詳しくは、ヘルプやユーザーズガイドにて案内されていますので、そちらをご覧の上、DigiOnTVRをご活用ください。

注意

D1出力対応映像機器について

映像機器側のD端子がD1以外にも対応している場合、機器側をD1出力に設定しないと映像が表示されません。

参考

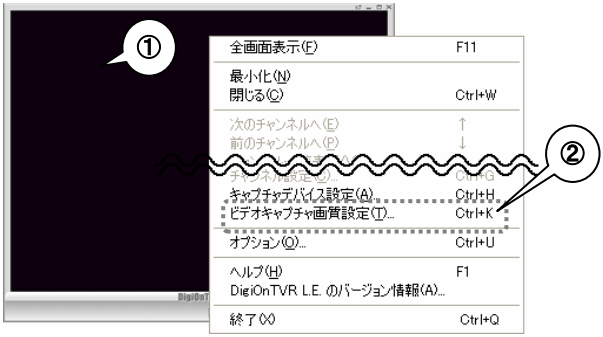
録画する入力を選ぶ

① [Input] ボタンをクリックします。 [Video AUX] と表示
② 下に表示された中から、本製品入力を選びます。
　コンポジット：Sビデオ変換アダプタを使って映像機器を接続した場合
　Sビデオ：Sビデオ入力に映像機器を接続した場合
　Video AUX：D1入力に映像機器を接続した場合



3次元Y/C分離などの画質設定をする

① モニタウィンドウを右クリックします。
② 表示された中から、［ビデオキャプチャ画質設定］をクリックします。
　⇒設定画面が表示されます。画面をご覧になり、設定を行います。



表示方法

● ヘルプの表示方法

DigiOnTVRのデッキウィンドウ左上にある ? ボタンをクリックします。



● ユーザーズガイドの表示方法

［スタート］ボタンから［（すべての）プログラム］→［DigiOn］→［DigiOnTVR L.E.］→［DigiOnTVR ユーザーズガイド］の順にクリックしてください。

参考

ユーザーズガイドを表示するにはAdobe (Acrobat) Readerが必要です

インストールされていない場合は、サポートソフトからインストールしてください。

付録

サポートソフトの削除……36

サービス品のソフトウェア……37

困った時には……38

別売オプション品……41

仕様……42

サポートソフトの削除

サポートソフトの削除（アンインストール）方法について説明します。

サービス品のソフトウェアの削除
各ソフトウェアのヘルプやオンラインマニュアルなどをご覧ください。

Windowsにログオンするときは
コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでログオンしてください。

ドライバの削除

1 サポートソフトを挿入します。

サポートソフトをCD-ROMドライブに挿入します。
⇒メニューが表示されます。

メニューが表示されない
①「マイコンピュータ」を開きます。
②［GVBCTV］→［SETUP］の順にダブルクリックします。
⇒メニューが表示されます。

2 ［ドライバのインストール］をクリックします。

⇒インストール画面が表示されますので、［アンインストール］を選んで［OK］ボタンをクリックしてください。
ドライバのアンインストールが始まります。

本製品を取り外す場合
アンインストールが終わったら、パソコンの電源を切り、しばらくたってから本製品を取り外してください。

サービス品のソフトウェア

添付されているサービス品のソフトウェアについて説明します。

入っているソフトウェア

● DigiOnTVR L.E. for I-O DATA

入力された映像を視聴・録画するためのアプリケーションです。
また、録画した映像の編集やDVDオーサリングも行えます。

● XVD Encoder plus 機能制限版

MPEG, AVIなどの動画をXVD形式にエンコードするソフトウェアの機能制限版です。
複数のファイルを登録することで連続してエンコードタスクを実行できるほか、エンコードの詳細なパラメータを設定したり、プラグインを利用することができます。

参考

製品版との違いについて

下記の方法で、機能の制限について記載したpdfファイルを見ることができます。

① XVD Encoder plus 機能制限版をインストールします。
② [スタート] → [(すべての) プログラム] → [B.H.A] → [XVD Encoder plus 機能制限版] → [XVD Encoder plus 機能制限版アップグレードについて] の順にクリックします。

● Windows Media Video 9 VCM

「DigiOnTVR L.E. for I-O DATA」で、AVIファイルコンテナに収められている Windows Media Video 9 コーデックを利用できるようになります。

インストール方法

サポートソフトのCD-ROMを挿入し、インストールメニューを表示します。
あとは、インストールするソフトウェアを選んで画面の指示に従ってください。

困った時には

参考

DigiOnTVRの操作についての困った時には

【DigiOnTVRの操作】(33ページ)を参考に、ヘルプやユーザーズガイドをご覧ください。

本製品のドライバが表示されない

原因1 接続に問題がある

【取り付けよう】(19ページ)をご覧になり、本製品の接続をご確認ください。

原因2 本製品が正しく認識されていない

① 【確認しよう】の手順3 (26ページ)をご覧になり、本製品があるか、「！」マークが付いていないかを確認します。
また、［不明なデバイス］が無いかを確認します。
※ ［その他のデバイス］の下もご覧ください。

② 「！」マークが付いていたり、【不明なデバイス】があった場合は、それを削除します。

③ 【ドライバをインストールしよう】(18ページ)をご覧になり、ドライバをインストールしてください。

DVDに書き込めない

原因1 コンピュータの管理者(Administrator)権限がない

コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでログオンしてください。

原因2 DigiOnTVRがお使いのDVDドライブに対応していない

対応するドライブについては、下記のWebサイトをご覧ください。

http://www.digion.com/pro/dr_main.htm

表示した映像、または再生したファイルの音声が聞こえない

原因1 正しく接続されていない

【取り付けよう】(19ページ)をご覧になり、以下をご確認ください。

・映像機器とサウンドカードの接続

原因2 スピーカーがつながっていない

パソコンとスピーカーがつながっているかを確認してください。

原因3 DigiOnTVRの音量が小さく設定されている／ミュートになっている

DigiOnTVRの音量設定が小さくなっていないかご確認ください。

原因4 Windowsの再生／録音ボリュームが小さい

他のアプリケーションなどで音声を確認してください。
音が聞こえない場合は、下の作業を行ってください。

① Windowsのボリュームコントロールを開きます。
② 各種ボリュームを大きくします。
③［オプション］→［プロパティ］を開きます。
④「録音」の全項目を表示させます。
⑤ 各種ボリュームを大きくします。

DigiOnTVRで映像がコマ落ちする

原因 パソコンに負荷がかかっている

他に行っている作業や常駐ソフトウェアを終了してください。
終了後しばらくしてから、もう一度お試しください。

また、モニタウィンドウを右クリックし、表示された［デインターレース表示］のチェックを外してください。

表示した映像が白黒になっている

原因 **コンポジットで入力しているのに、Sビデオで入力している設定になっている**

【録画する入力を選ぶ】(33ページ)をご覧になり、設定をコンポジットに変更してください。

別売オプション品

本製品には、下記のような別売オプション品がございます。
必要に応じてお買い求めの上、本製品と併せてお使いください。

■ GV-FRONT ～ 映像機器をよく接続する方に ～

本製品の「Sビデオ入力」、サウンドカードの「音声入力コネクタ」をパソコンの前に移動することができます。
映像機器を切り替えてお使いの方などに便利です。

※ GV-FRONTには、D1入力がありません。



仕様

ビデオ入力	NTSCコンポジット	1Vp-p/ 75Ω
	Sビデオ	Y: 1Vp-p/ 75Ω C: 0.286Vp-p/ 75Ω
	D1	Y: 1Vp-p/ 75Ω Cb: 0.7Vp-p/ 75Ω Cr: 0.7Vp-p/ 75Ω
割り込み(IRQ)	Plug&Playによる自動設定(1つ使用)	
メモリマッピング	Plug&Playによる自動設定	
電源	+3.3V ±5% +5V ±5% +12V ±5%	
消費電流(MAX)	+3.3V:400mA +5V:240mA +12V:55mA	
使用温度範囲	+5～+35℃	
使用湿度範囲	20～80%(結露なきこと)	
サイズ	約64.6mm(W) × 約158mm(D) × 約18mm(H) (スロットカバーおよび突起部含まず)	
質量	約70g	

お問い合わせ

本製品について

本製品に関するお問い合わせは弊社サポートセンターで受け付けています。

1 まず、弊社ホームページをご確認ください。

【困った時には】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、News」などもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/　**製品Q&A, Newsなど**

また、添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/　**弊社サポートライブラリ**

2 それでも解決できない場合は･･･

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター

電話：　本社…**076-260-3646**　東京…**03-3254-1036**
※受付時間　9:30～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

FAX：　本社…**076-260-3360**　東京…**03-3254-9055**

インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

参考

お知らせいただく事項について

1. ご使用の弊社製品名。
2. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態
（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

DigiOnTVR について

添付の「DigiOnTVR」に関するお問い合わせは株式会社デジオンで受け付けています。

株式会社デジオン　サポートセンター

電話：　092-833-6288
　　※受付時間　10:00～12:00　13:00～17:00
　　月～金曜日（祝祭日および特別休業日を除く）
インターネット：　http://www.digion.com/
E-Mail：　support@digion.com
FAX：　092-833-6278

参考

ユーザー登録について

ユーザーサポートをご利用になるには、事前にユーザー登録が必要です。
DigiOnTVR L.E. for I-O DATAを起動し、［?］ボタンをクリックし、［ユーザー登録］を行ってください。
インターネットからユーザー登録したい場合は、下記サイトにアクセスしてください。

http://www.digion.com/user_reg/index.htm

※ 登録に必要なシリアルナンバーは、［?］ボタンをクリックし、［DigiOnTVR L.E.のバージョン情報］でご覧になれます。

XVD Encoder plus について

添付の「XVD Encoder plus 機能制限版」に関するお問い合わせは株式会社ビー・エイチ・エーで受け付けています。

株式会社ビー・エイチ・エー　テクニカルサポートセンター

インターネット：　http://www.bha.co.jp/support/madoguti/
※ページ内のオンラインサポートをクリックしてください。
※お問い合わせをいただくには、ユーザー登録を行っていただく必要がございます。

TEL：06-4861-8234
受付時間：月～金曜日　10：00～17：00
土曜日　10：00～12：00、13：00～17：00
（毎月最終土曜日、夏期・年末年始・特定休業日、祝祭日を除く）

FAX：06-6378-3336

※ご回答には、2～3営業日お時間をいただく場合がございます。

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。

※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。

※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号（製品に貼付されたシールに記載されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
8) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
9) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
10) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
13) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。
14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft, Windows, MS, DirectXは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

GV-D1VR 取扱説明書

2004.02.27 147644-02

発 行　株式会社アイ･オー･データ機器

〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2004 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.